



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 パーチャレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6193 URL <http://www.vx-holdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 黒田 勝 TEL 03-3578-5300
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,796	△5.8	145	△43.9	86	△68.4	60	△36.7
2024年3月期第3四半期	5,092	2.2	258	△38.9	274	△37.4	95	△67.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 59百万円 (△40.3%) 2024年3月期第3四半期 99百万円 (△73.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	21.31	21.23
2024年3月期第3四半期	32.65	32.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,769	1,723	44.5
2024年3月期	3,524	1,752	48.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,677百万円 2024年3月期 1,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,050	5.3	422	13.7	420	△7.5	270	33.1	95.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	2,989,753株	2024年3月期	2,989,753株
2025年3月期3Q	176,229株	2024年3月期	114,829株
2025年3月期3Q	2,835,851株	2024年3月期3Q	2,925,024株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績に関する説明	2
(2) 当四半期の財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、個人消費や設備投資が持ち直しつつある中、緩やかな回復が続くことが期待されています。一方で、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスク、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に注意が必要と思われます。

このような状況の下、当社グループはテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティングはCRMをビジネスのドメインに、タイムインターメディアはWeb、文教・教育、AIなどをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を継続して行ってきました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,796,640千円（前年同四半期比5.8%減少）、営業利益145,185千円（前年同四半期比43.9%減少）、経常利益86,817千円（前年同四半期比68.4%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益60,442千円（前年同四半期比36.7%減少）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業は、新規事業として拡大を目論むデジタルマーケティング領域の案件受注が低調に推移した結果、前年同四半期比で減収となりました。また、前年度末に発生していた株式会社タイムインターメディアの大型案件について、当第3四半期連結会計期間においても追加の損失額を計上いたしましたが、前連結会計期間で損失が発生していたバーチャレクス・コンサルティング株式会社の大型案件が、前年度中に収束した結果、前年同四半期比で増益となりました。引続き今後も新規案件の受注を獲得するために営業活動に注力してまいります。

一方で、前年度末から資本業務提携を開始したKotozna株式会社（以下、「Kotozna」）とは、「当社グループが有するCRM関連サービス力及びコンサルティング実績」×「Kotoznaが有する生成系AI関連技術」の融合により、生成系AIを活用した新たなソリューションサービスの構築と展開を進めており、案件創出及び案件拡大に向け注力しております。

その結果売上高は2,751,874千円（前年同四半期比12.1%減少）、セグメント利益は541,226千円（前年同四半期比5.4%増加）となりました。

アウトソーシング事業は、新型コロナウイルス感染症の特需に伴う高利益率案件が収束する中、従前からの案件が堅調に拡大推移したことにより、前年同四半期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は2,044,765千円（前年同四半期比4.1%増加）、セグメント利益は360,685千円（前年同四半期比7.6%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より245,405千円増加し、3,769,545千円となりました。これは主に、前連結会計年度末より、現金及び預金が171,809千円増加したこと、新規のソフトウェア開発を進めたことにより、ソフトウェア・ソフトウェア仮勘定などの無形固定資産が83,159千円増加したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末より274,059千円増加し、2,045,549千円となりました。これは主に、長期借入金が154,020千円、1年内返済予定の長期借入金が56,440千円、前受金が65,067千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益60,442千円を計上したこと、自己株式の取得により55,567千円減少したこと、新株予約権が10,504千円増加したこと等により、前連結会計年度末より28,654千円減少し純資産は1,723,995千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては2024年5月13日の2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）で公表した2025年3月期通期の連結業績に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,155,789	1,327,598
受取手形、売掛金及び契約資産	1,078,582	1,150,349
仕掛品	2,568	3,816
前払費用	99,122	124,063
その他	85,803	34,642
流動資産合計	2,421,866	2,640,470
固定資産		
有形固定資産	70,905	88,237
無形固定資産		
ソフトウェア	145,032	175,193
ソフトウェア仮勘定	99,170	152,169
電話加入権	3,820	3,820
無形固定資産合計	248,024	331,183
投資その他の資産		
投資有価証券	537,345	465,755
その他	250,913	248,813
貸倒引当金	△4,914	△4,914
投資その他の資産合計	783,344	709,654
固定資産合計	1,102,273	1,129,075
資産合計	3,524,140	3,769,545
負債の部		
流動負債		
買掛金	129,999	88,190
短期借入金	400,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	76,280	132,720
未払金	249,102	280,529
未払費用	62,220	64,282
リース債務	903	—
未払法人税等	36,510	26,375
未払消費税等	85,842	104,538
未払事業所税	6,025	4,733
前受金	102,615	167,682
預り金	114,694	109,907
賞与引当金	180,978	136,232
受注損失引当金	8,598	9,018
流動負債合計	1,453,769	1,574,211
固定負債		
長期借入金	287,360	441,380
その他	30,360	29,958
固定負債合計	317,720	471,338
負債合計	1,771,490	2,045,549

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,516	610,516
資本剰余金	314,070	314,070
利益剰余金	860,330	877,649
自己株式	△99,722	△155,289
株主資本合計	1,685,196	1,646,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,956	31,046
その他の包括利益累計額合計	31,956	31,046
新株予約権	35,496	46,000
純資産合計	1,752,650	1,723,995
負債純資産合計	3,524,140	3,769,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,092,854	4,796,640
売上原価	3,919,723	3,657,661
売上総利益	1,173,131	1,138,979
販売費及び一般管理費	914,290	993,793
営業利益	258,840	145,185
営業外収益		
受取利息及び配当金	119	168
助成金収入	—	2,729
投資事業組合運用益	14,153	—
その他	5,753	1,372
営業外収益合計	20,026	4,269
営業外費用		
支払利息	3,472	7,742
支払手数料	675	907
投資事業組合運用損	—	53,951
その他	357	37
営業外費用合計	4,504	62,638
経常利益	274,362	86,817
特別利益		
固定資産売却益	—	1,654
投資有価証券売却益	—	9,600
新株予約権戻入益	996	—
特別利益合計	996	11,254
特別損失		
減損損失	46,933	—
関係会社株式評価損	—	2,101
固定資産除却損	699	0
投資有価証券評価損	60,381	—
特別退職金	2,814	—
特別損失合計	110,827	2,101
税金等調整前四半期純利益	164,531	95,971
法人税等	69,031	35,528
法人税等合計	69,031	35,528
四半期純利益	95,500	60,442
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	95,500	60,442

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	95,500	60,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,145	△910
その他の包括利益合計	4,145	△910
四半期包括利益	99,645	59,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,645	59,531
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、税金等調整前四半期純損益金額に対する影響額及びその他の重要な項目に対する影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、税金等調整前四半期純損益金額に対する前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間における影響額及びその他の重要な項目に対する影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前四半期純利損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純利損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、当該法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,129,359	1,963,494	5,092,854	5,092,854
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,129,359	1,963,494	5,092,854	5,092,854
セグメント利益	513,317	335,092	848,409	848,409

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	848,409
全社費用（注）	△589,568
四半期連結損益計算書の営業利益	258,840

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントのごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に「IT&コンサルティング事業」セグメントにおいて、固定資産（ソフトウェア）の減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において46,933千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,751,874	2,044,765	4,796,640	4,796,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,751,874	2,044,765	4,796,640	4,796,640
セグメント利益	541,226	360,685	901,912	901,912

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	901,912
全社費用（注）	△756,727
四半期連結損益計算書の営業利益	145,185

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2024年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月27日 定時株主総会	普通株式	43	15	2023年3月31日	2023年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年6月25日 定時株主総会	普通株式	43	15	2024年3月31日	2024年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が末日後となるもの
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	78,570千円	76,764千円